

プロネクサスベトナム現地レポート

(2020年12月 VOL.13)

プロネクサスベトナムが、ベトナム現地情報をお伝えいたします。

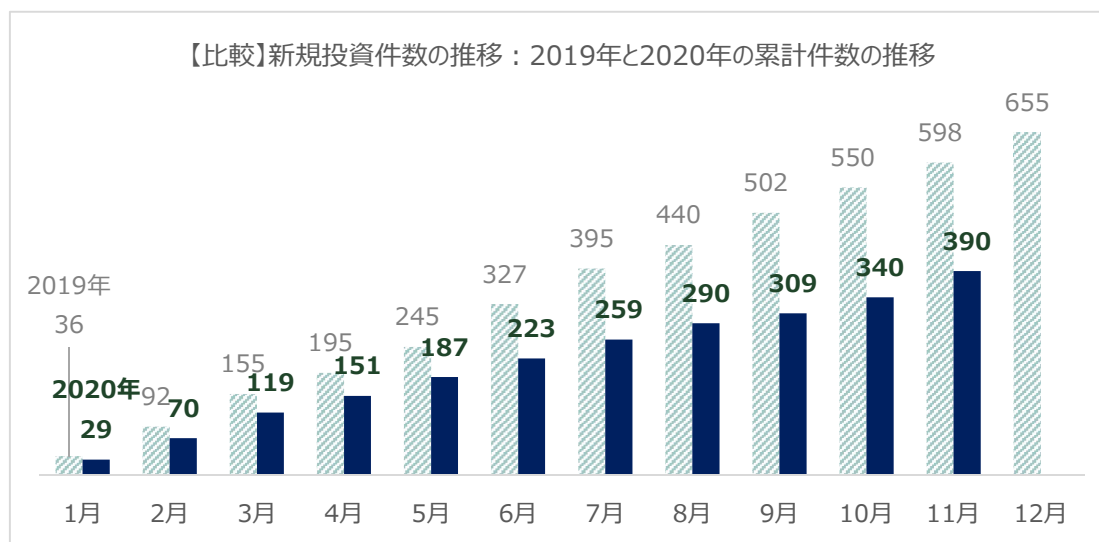
今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてです。全世界で流行中の新型コロナウイルスの影響で、日本のベトナムへの FDI 投資件数ならびに投資額は、前月の傾向から変化なく、前年の同時期と比較して減少しております。

【FDI 動向の概要（1月～11月）】 *11月の数値は、20日時点の速報値

【1】日本の対越投資動向

- 日本の2020年1月から11月までの FDI 投資額は約 21 億 1,144 万 US ドル（*2019年同期間：約 33 億 3,387 万 US ドル、63.3%）
- 日本の2020年1月から11月までの FDI 投資件数は、889 件（*2019年同期間：1,315 件、67.6%）
- 証券投資件数を除いた日本の2020年1月から11月までの FDI 投資件数は、390 件。（*2019年同期間：598 件、65.2%） *下グラフ参照

*証券投資を除く FDI 投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。



*データ引用元：ベトナム外国投資庁

【2】世界の対越投資動向

2020年11月現在、海外からのベトナムへの直接投資は、109の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約80億
2位	韓国	約37億
3位	中国	約24億
4位	日本	約21億
5位	台湾	約19億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	2,632
2位	中国	1,219
3位	日本	889
4位	シンガポール	786
5位	台湾	607

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2020年1月～11月）

<主な大型プロジェクト>

- ▶ 液化天然ガス（LNG）の発電所プロジェクトの約40億USドル（シンガポール）2020/1
- ▶ ロンソン石油化学コンビナート建設プロジェクトで約13億USドル（タイ）2020/4
- ▶ ベトナム・ハノイ市の不動産開発事業「スターレイク・プロジェクト」に関する追加投資で、約7.7億USドル（韓国）2020/6
- ▶ ペガトロンではゲーム機器等の工場建設プロジェクトで約7億USドル（台湾）2020/10
- ▶ タイヤメーカーJINYU TIRE（ジンユータイヤ）のタイニン省フックドン工業団地の工場建設プロジェクトで約3億USドル（中国）2020/1
- ▶ 上記の大型プロジェクトなどがFDI投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへの投資金額は、対前年同時期と比較して83.1%で推移。

*引用元：ベトナム外国投資庁

<外国からの投資に回復の兆し>

コロナウイルスの影響を受け、2020年11月時点においても、FDI投資件数ベースでは依然として対前年比で約68%に留まっているものの、ベトナムではコロナウイルスの感染拡大が一定の水準に抑えられていることから、FDI投資にも改善の兆しがみられます。世界的には、未だに海外からの投資受け入れが減退基調にあるなか、いち早くコロナウイルスの影響を脱しつつあるベトナムの、投資先としての魅力は、今後も海外投資家の興味と関心を引くことが見込まれます。

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

次回は、【日本人の知らないベトナム人の特徴、習慣】をお伝え致します。

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複製、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。